

発行所 日本赤十字新労組連合会 (日赤新労) 東京都港区虎の門3-24-7 (虎申ビル) TEL 03-432-1089 発行責任者 掛井 巖

昭和59年 10月5日 発行 第105号

日赤新労

綱領 1. 吾々の守るべきものは、労働生活の権利である。 2. 吾々の求めるものは、労働生活の権利である。 3. 吾々の求めるものは、労働生活の権利である。

第2回中央委員会を開催

昭和59年9月17~18日 東京郵便貯金会館

実現に向け 集団交渉を行う

中央委に先立ち幹部研修会も併開

改築新築された東京郵便貯金会館において、五十九年度第二回中央委員会(単組代表者を含む)並びに幹部研修会が全国新労連下の各単組の中央委員をはじめ、単組代表者、オプザーバ1および本部役員参加のもとに盛大に開催された。中央委員会に先立ち、幹部研修会を開催し、我々医療労働者にとって最も関心の深い「これからの医療費について」と題して、医療費問題の専門家である中野協委員の一本香樹氏による講演が行われた。(主な内容別掲)

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転



第2回中央委員会 (59・9・17~18)

本年度の年末手当について本部からの提案理由の説明があり、各ブロックでの討議の報告を含め種々討議されたが、本年度も統一要求として、要求額三十五割プラス一律五万円とし、各単組は十一月十五日に各施設長に要求書を提出することが決

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

中央委員会に入り、開会宣言の方向に進み、次に、連署記載の要求書回答に、議長に渡辺康吉氏(府津日赤)、副議長に赤坂義徳氏(盛岡日赤)、書記に坂本由樹氏(足利日赤)を選出し議事を進めた。 川出中央執行委員長挨拶があり、続いて各専門部(組織、教育、調査、婦人の活動報告)及び一般経過報告があり、若手の質疑応答が行われたが、その中で、本部事務所移転のその後の経過についての質疑があり、本部としては、金額的な面、本社との距離的なことを考慮して物色しているもの、適当な所が見当たらずにいるが、今年度中には何んとか移転

幹部研修会の経過

十七日、午前十時より全国新労連下の幹部多数出席の下に、幹部研修会が開催された。 今回は講師として中野協委員一本香樹氏を迎え、「これからの医療費について」と題して現在の医療行政と医療費改訂、将来の医療保険など諸問題について講演が行われた。特に我々医療従事者にとって最も関心の深い事柄なので、出席者全員が目の輝いた顔で聴講していた。 その主な内容は次のとおり

昭和三十六年の皆保険以来に導入することにより、寿命も永く成り今や男性ではフライングに次いで世界第二位、女性に

日赤 富士山荘に集う

59年度全国初心者研修会

昭和五十九年九月十四日、十六日、我々には馴染みになった、自然郷富士のふもと、日赤富士山荘において、本年度初心者研修会が総六

いとなりゲームを楽しんだ。結果は、硬式「岡山日赤山」、勝田組、軟式「盛岡日赤山」、島根日赤栗森組が優勝した。

「要求書」「組合とは」「組合規約」「労働協約」について、各講師の講義が始まり、中央執行委員長より「日赤機構と新卒について」というテーマで、一般職員にはあまり知られない、内部機構と日赤新卒の誕生から今日までの経過について講義が行なわれ、全員が熱心に受講し、大変参考になった、やる気になった等の意見が出された。

研修の合間には、自己紹介の仕方やゲームをとり入れ好評であった。講義も一通り終了し、研修で疲れ気味の体を懇親会場へ移し、全員で乾杯し宴会に入り、アルコールの酔った所で、カラオケで、座が盛り上がった。懇親会では他の単組の人達と話が出来て有意義であったという声が多かった。翌日は雨にたれたが、富士五合目で観光し、十一時河口湖で別れを惜し

七月二十八日、二十九日、睡目日は、朝日がまぶしくて、差海岸において、恒例の八戸日赤と盛岡日赤との合同キャンプから大きな日の出に感激しておこなわれました。盛岡から約四時間、目的地到着。シューズ、泳ぐ人、もぐる人、ボートに乗る人、日光浴を楽しむ人等、夏を満喫しました。昼食後、十月の運動会または二月の合同一泊スキーでの再会を約束して種々の海岸を後にしました。

恒例の合同キャンプ

八戸・盛岡日赤労組



私達十一名は、八戸日赤の執行委員長はじめ、組合員の皆さんの大歓迎を受け、新鮮なお刺身や、ほや等のごちそうをいただきながら、にぎやかな夕食でした。そのあとは夜の海岸で花火大会です。真暗な海に向かって、あちらこちらきれいな花火が上がります。楽しさ余って、洋服のまま海に入った人もいます。

県下対抗野球大会を

名二日赤労組

夏期手当に関する交渉も要求額には達しなかったが、それなりの成果をあげ一段落。組合主催のレク活動も職員間の親睦を築く上には大変重要な行事です。

第一試合は、第二日赤が砲谷投手の頑張りで四対三と愛知血を破り、第二試合は、豊橋血の善戦及ぼす、第一日赤が坂井田投手の三安打完封、自らホームランと投打にわたる活躍で五対〇と完勝し、それぞれ決勝戦に進みました。

焼肉パーティー盛大に

鳥取日赤職組

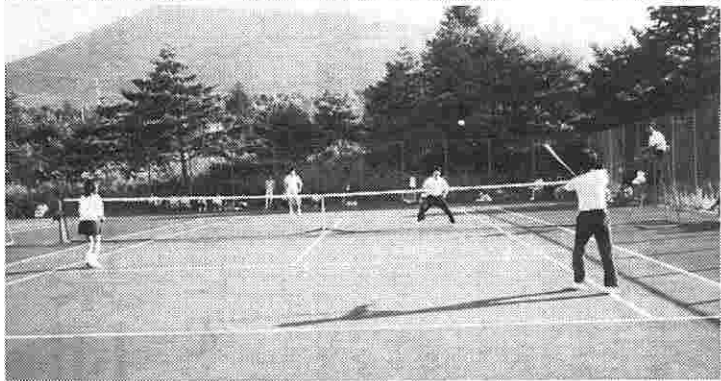
一生懸命汗を流して働いた後、楽しいものがありません。大人の夏を満喫させるものはあ

当日は天候にも恵まれ、大海原からさわやかに吹き寄せて来る潮風と、おいしい焼肉の臭いに食欲がそそられます。夏の組合員一致団結し、頑張っている気さなんのそのです。おな

海の上の山陰海岸で焼肉パーティーをやったよ」とい

鳥取日赤職組バンザイと、婦りのバスでは、さすが実行力の組合と高く評価を受け、執行部、実行委員も満足しました。

やがてポツポツと漁火が見えはじめる頃、工夫をこらした花火が始まりました。明るく光るムーンライトを浴びて、大声で「おめでとう」といって、大勢で



熱心に講義を受け、またスポーツに良い汗を流した初心者研修会参加のみなさん

我が大田原赤十字病院職員組合では、春秋二回のボウリング大会が恒例となっております。今年も、去る九月二十日(木)、大田原市内「王冠ボウル」にて多数の参加者のもと盛大に開催されました。

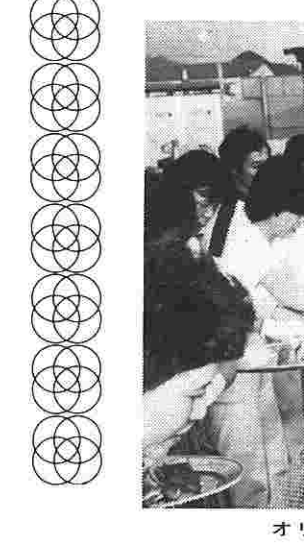
ボウリング大会開く

大田原日赤職組



ボウリング大会に参加のみなさん

結果はともあれ、組合員相互の親睦を深めるという意味では、大変有意義な大会となりました。



オリジナル作品「焼肉用金網」が活躍

